

芭蕉元祿事業 奥の細道むすびの地「大垣」十六万市民俳句ポスト

平成二十七年三月度 入選句（投稿総数千九百五十九句・一般投句数六百十四句）

特選

選者 長野 美代子

雪解水はずみをつける縮太鼓

大垣市

北島 暁子

今年が遅くまで雪が降り、仲々と春も来ない。でも自然は止まることなく日日春へと進んでいる。降りつもる雪にも地熱により雪は解けている。春祭の太鼓であろうか急ぎたてるやうに打つ音に雪解けも早まるであろう。取り合せが上手な佳句です。

グランドの砂巻き上げて春一番

大垣市

宮脇 和子

春休みで誰も居ない運動場を強風は我物顔であらびているのであろう。児童がいる時であつたら大変です。見ている見逃がす景。佳句です。

早春の子の声走る滑り台

不破郡垂井町

白井 梅乃

仲々寒くて外で遊ぶことが出来ず家でうずうずし叱られることも多かったであろうが、少し暖かいと外に出ていきたい。公園へ行けばまず滑り台にかけ上がる。大きな声と共に滑って来る。「声走る」の措辞がともうまいです。よい佳句です。

秀逸

湯気立てて独りしづかに写経かな

愛知県名古屋市

舘野 茂子

銀の匙子等を映して春の風邪

大垣市

今津 正元

水温むふいに跳ね上ぐ池の鯉

大垣市

高田 雅章

焼きたてのケーキの香り春きざす

養老郡養老町

高木 美保

駄菓子屋に自転車倒れ春休み

不破郡垂井町

服部 智恵

追難式傘逆さまに豆うけて

大垣市

稲山 清子

余寒なほまた鉛筆のころがりて

大垣市

佐藤 すみ子

木偶お化けどでかい舌もうらけし

大垣市

田中 雅子

竹林の音立て撓ふ風 二月

岐阜市

石崎 宗敏

木を切って空あたらしき春の庭

不破郡垂井町

高木 巧

入選

七草に名もない草も取りにけり
 早梅の香の生まれては風となる
 足あとに又足跡の雪の道
 馬酔木咲く花房の白重きほど
 木洩れ日や寝釈迦の耳に風そよぐ
 早春の飛驒の杉玉蔵めぐり
 風音を聞きて頭を出すつくしかな
 朝の水飲み干すコップ水温む
 卒業子以下同文の起立かな
 蠟燭の揺れて始まる涅槃の偈

不破郡垂井町 内海 白涛
 大垣市 松岡 千代
 大垣市 竹中 昌子
 大垣市 岡田 あや子
 大垣市 安部 芳枝
 不破郡垂井町 北村 照子
 大垣市 村西 芳夫
 大垣市 山田 千歌子
 大垣市 傍島 隆
 岐阜市 宮西 美代子

入選

風出づる古戦の跡地草青む
 眦に伊吹をとらへ麦を踏む
 朱もくれん今を盛りと立子の忌
 軒先の猫細目して余寒かな
 車椅子押して豆まく万願寺
 すぐ洩れる女の内緒さくら餅
 露の臺庭下駄を借り五個六個
 手を伸べて闇に確かむ春の雨
 はやばやと更地に生るる杉菜かな
 氷瀑の光の奥に不動尊

不破郡垂井町 富田 実郎
 愛知県尾張旭市 古賀 勇理央
 大垣市 川瀬 喜梅古
 大垣市 坪井 克枝
 不破郡垂井町 江崎 真一
 大垣市 早崎 美弥子
 大垣市 中山 あや子
 養老郡養老町 田中 秀子
 大垣市 藤井 正勝
 長野県下伊那郡 長沼 まさし

選者吟

揚げひばり古墳静かに深ねむり

美代子